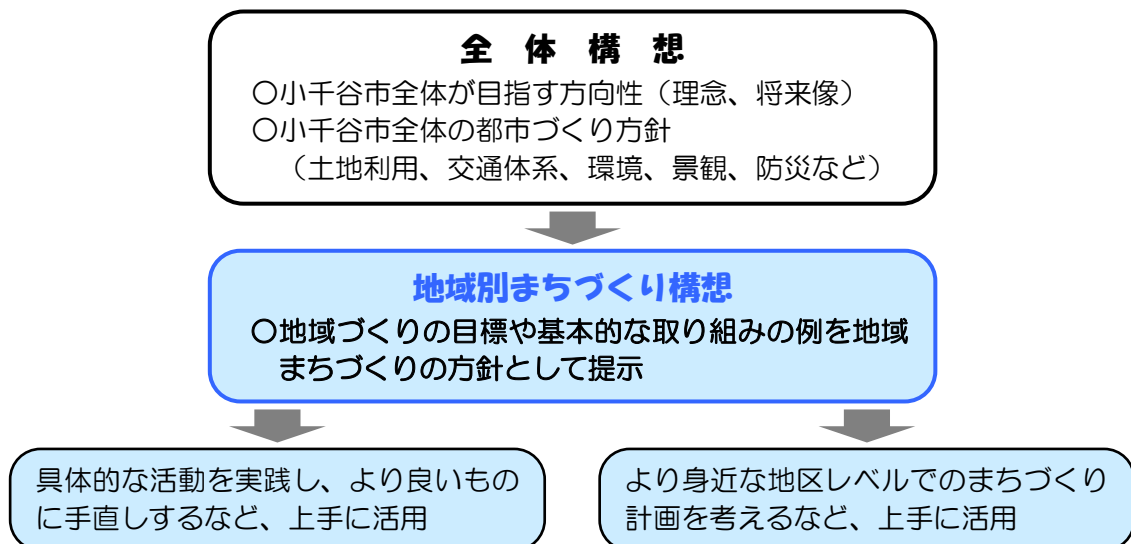


第5章 地域別まちづくり構想

1. 地域別まちづくり構想の位置づけ

- ・本計画が掲げる「個性が輝く創造と交流の都市 小千谷」の実現に向けては、都市全体としての統一性・整合性を図る取り組みだけでなく、各地域固有の資源や特徴を活かしたきめ細かな取り組みとの両輪で進めていくことが重要です。
- ・また、そのためには、地域のことをもっともよく知る住民のみなさんが、地域の身近なまちづくりについて自ら考え、主体的にまちづくり活動に取り組んでいくことが不可欠です。
- ・地域別まちづくり構想は、小千谷市全体が目指す目標や都市づくりの方向性（全体構想）を各地域に当てはめる中で、地域のみなさんが主体的に取り組んでいただきたいことなどをアイデアとして示したものです。
- ・今後、これを参考に地域のみなさんでさらに検討を重ねていただき、よりよい地域づくりを協働で進めていきたいと考えています。



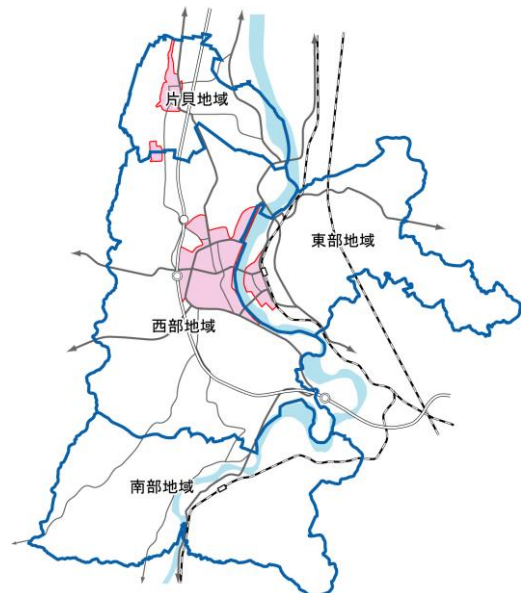
- ・本計画では、地形条件や地域的つながりなどを考慮し、大きく4つの地域に区分しています。

片貝地域	片貝地区
西部地域	西小千谷地区、城川地区、千田地区、吉谷地区、山辺地区
東部地域	東小千谷地区、東山地区
南部地域	川井地区、岩沢地区、真人地区

※1：地区名称は、小千谷市統計書によるもの

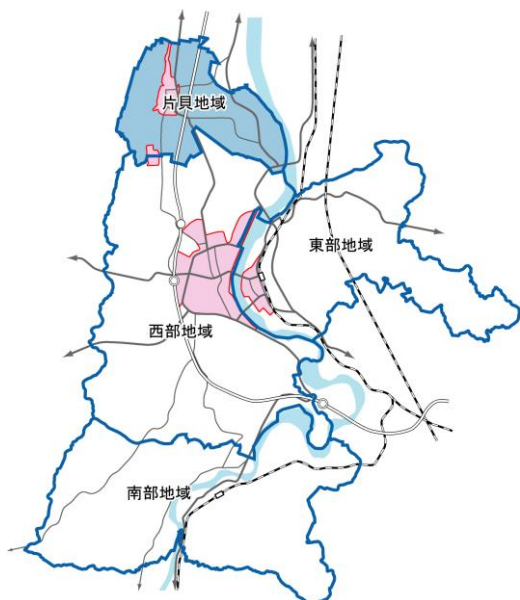
※2：片貝地区には、五辺・高梨地区を含む

※3：東小千谷地区には、旧横浦地区を含む

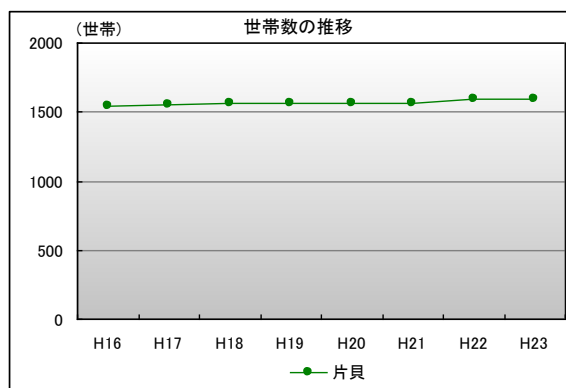
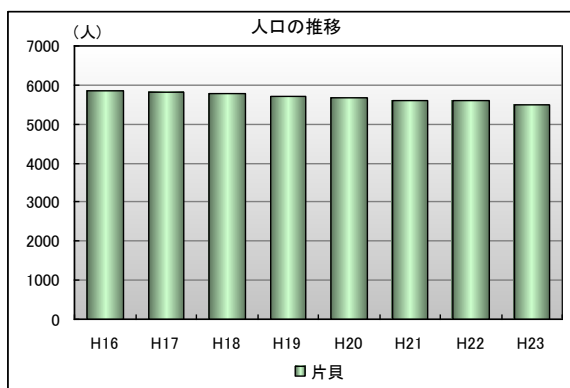


2. 片貝地域のまちづくり方針

(1) 片貝地域の現況 (片貝地区 (五辺・高梨を含む))



- ・片貝地域は、本市の北部に位置し、長岡市（越路地域）に接しています。
- ・地形は、西に丘陵地が連なり、東には信濃川が流れ、高梨町付近には河岸段丘の緑地が延びています。
- ・地域の中央には関越自動車道や(主)長岡片貝小千谷線が、東側には国道 351 号が縦貫し、地域の骨格道路網を形成しています。
- ・市街地は、(主)長岡片貝小千谷線に沿って南北に細長く形成されているほか、南側には西部工業団地が整備されています。
- ・平成 23 年の人口は 5,505 人、世帯数は 1,590 世帯で、人口は緩やかな減少傾向、世帯数は緩やかな増加傾向にあります。
- ・信濃川の広大な河川敷（妙見堰）を利用した河川公園や佐藤邸跡を活用した片貝ふれあい公園けやき園が整備されているほか、世界一の四尺玉花火で有名な片貝まつりなどの文化資源があります。



(資料：住民基本台帳 各年 3 月 31 日現在)

◇ 主要な地域資源 ◇

主な自然資源	主な歴史資源	主な公共施設	主な都市施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・西側の丘陵地 ・信濃川 ・須川 	<ul style="list-style-type: none"> ・片貝城跡 ・浅原神社 ・佐藤邸跡 (片貝ふれあい公園 けやき園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・片貝総合センター ・片貝中学校 ・片貝小学校 ・和泉小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・関越自動車道 ・国道 351 号 ・(主)長岡片貝小千谷線 ・(一)岩野塚山線 ・(一)三仏生片貝線 ・(一)山谷片貝線 ・信濃川左岸河川公園 ・片貝ふれあい公園 けやき園 ・五辺の水辺 	<ul style="list-style-type: none"> ・片貝まつり

(2)片貝地域の主なまちづくり課題

①地域活力の維持が必要です

- ・地域の人口は5,505人（平成23年）で、市全体の14.1%となっています。
- ・人口は減少傾向にあり、地域コミュニティの低下が懸念されます。
- ・このため、若者を中心とする人口流出の抑制と地域への定住を図ることが必要となっています。
- ・西部工業団地のほか、(一)岩野塚山線の沿道などの中小規模の工場集積地は、地域の活力を創出するとともに、雇用の場としても重要であり、周辺の自然環境との調和に配慮しつつ、産業活動の場としての環境を維持・向上することが必要となっています。

②都市基盤の計画的な整備が必要です

- ・市街地における生活基盤は昔ながらの生活道路が主となっており、狭隘な道路も多く、木造家屋の密集地も見られます。
- ・このため、火災時における延焼の危険性、地震時における家屋倒壊などに伴う避難路の封鎖、緊急車両の通行が困難などの問題が懸念されます。
- ・長岡市中心地との交通アクセスの強化と市街地内の通過交通の排除を図るため、(主)長岡片貝小千谷線バイパスの整備が進みましたが、都市計画道路（一之丁五之丁線、片貝環状線の未着手区間）の整備促進が必要となっています。

③地域資源の保全・活用が必要です

- ・西側に連なる丘陵地、魚沼産コシヒカリの生産地である広大な田園、河岸段丘の景観、信濃川の雄大な河川景観など、良好な自然環境が広がっており、今後とも保全していくことが必要です。
- ・併せて、ハイキングコースやまちを見渡すビューポイント、身近に水辺にふれあえる空間などとして五辺の水辺、信濃川左岸河川公園の活用を図ることが望まれます。
- ・このほか、佐藤邸跡を活用した片貝ふれあい公園けやき園のように、身近な地域資源を活かして魅力づくりを進めていくことが必要です。

(3)片貝地域のまちづくり方針

①地域づくりの目標

独自の歴史文化を育んできた片貝地域では、長岡市に隣接する利便性の高い地域として、住宅地を中心とする市街地環境を形成するとともに、丘陵地や集落地の緑豊かな自然環境を保全しつつ、地域資源を活かした個性ある地域づくりを目指します。

②地域づくりの方針

[快適な住環境づくり]

- 生活道路の改善などを進めながら、既存の市街地環境・集落環境の暮らしやすさや安全性を高めるとともに、新たな住宅地の確保により地域への定住促進を図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の拡幅整備等による居住環境の改善 地区計画や建築協定、緑地協定などの住民主体のルールづくり 屋敷林や地域林などのまちなかの緑の保存
------------------------------------	---

[地域の生活を支える拠点づくり]

- 自動車に過度に依存することなく暮らすことができる地域づくりを目指すため、既存商店街の活性化を図りながら、地域コミュニティの中心となる拠点づくりを図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 既存商店街の活性化（魅力ある商店街づくり、イベントの開催など） 都市計画道路の整備と合わせた歩ける環境づくり、沿道景観の整備
------------------------------------	---

[地域活力創造の場づくり]

- 西部工業団地の機能拡張を検討するとともに、田園環境との調和に配慮しつつ、既存の工場集積地における環境の維持や新たな企業立地を支援します。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 西部工業団地の機能拡張、新たな企業誘致 (主)長岡片貝小千谷線沿道における新たな企業用地確保等の支援 (一)岩野塚山線沿道の既存工場集積地の機能拡充、環境改善
------------------------------------	---

[都市基盤の整備]

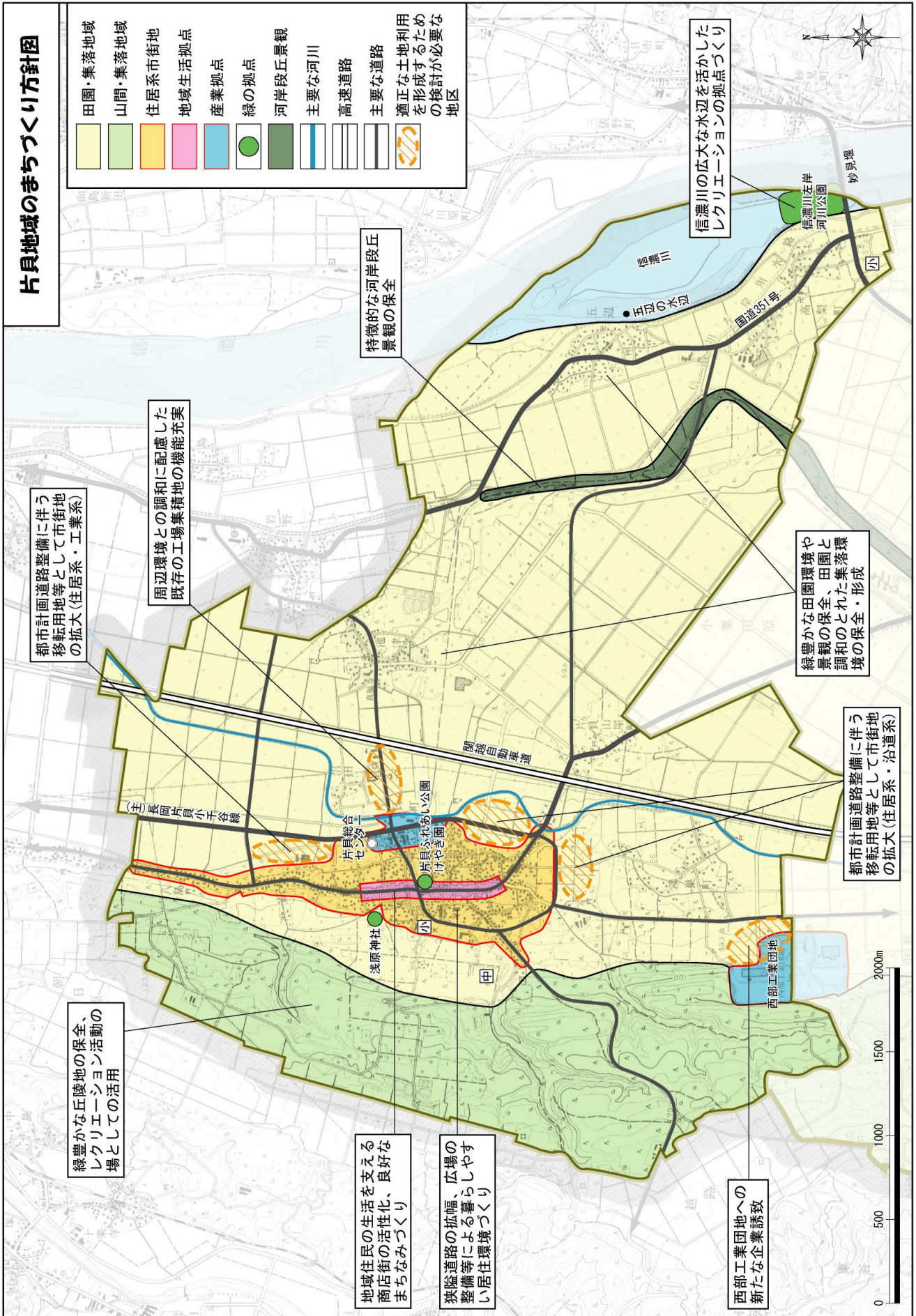
- 長期未着手となっている都市計画道路の整備を推進するとともに、特に市街地において身近な道路や公園の計画的な整備に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 未整備都市計画道路（一之丁五之丁線、片貝環状線の未着手区間）の整備 新たな住宅地整備などと併せた計画的な道路や公園整備 空き地などを利用した身近な広場空間の創出
------------------------------------	--

[地域資源の保全と活用]

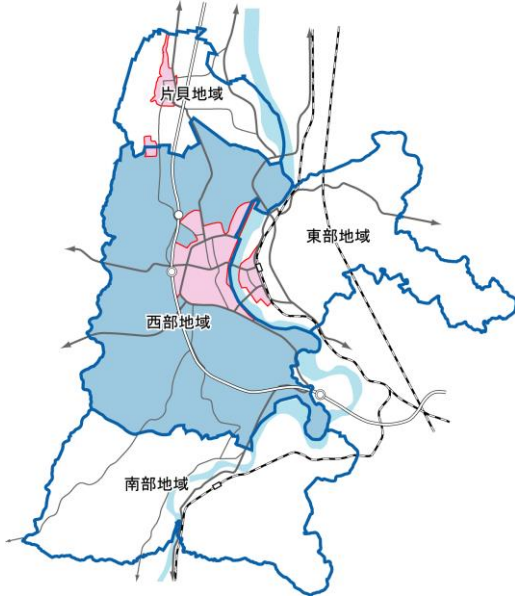
- 西部丘陵地や広大な田園、信濃川の水辺や河岸段丘緑地などの自然環境を保全するとともに、これらを活用した自然とのふれあいの場の整備に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 丘陵地や農地の保全 片貝城跡を利用したキャンプ場、ビューポイント、ハイキングコース等の整備 片貝ふれあい公園けやき園などの個性的な公園づくり
------------------------------------	--

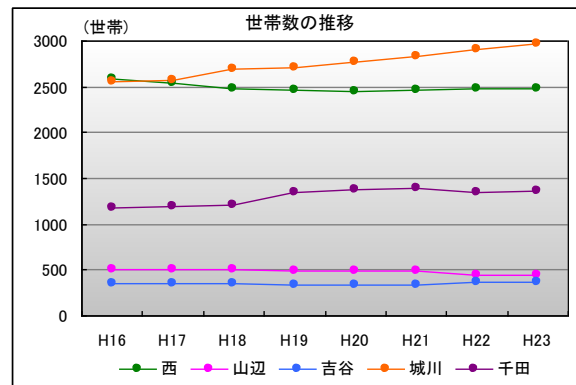
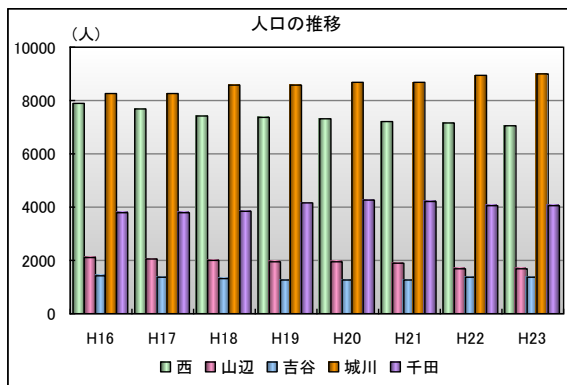


3. 西部地域のまちづくり方針

(1) 西部地域の現況 (西小千谷地区、城川地区、千田地区、吉谷地区、山辺地区)



- ・西部地域は、本市の中央、信濃川の左岸に位置し、西は長岡市（小国地域）に接しています。
- ・地形は、西に丘陵地が連なり、南部には山本山が広がっています。東には信濃川が流れ、小栗田原付近には河岸段丘緑地が延びています。
- ・地域の中央を関越自動車道が縦貫するほか、国道117号や国道291号、国道403号などを骨格として放射環状型の道路網が形成されています。
- ・市街地は、国道117号を外郭としてコンパクトに形成されており、市役所をはじめとして都市機能が集約しています。
- ・平成23年の人口は23,129人、世帯数は7,605世帯で、市人口の約6割が西部地域に居住しています。
- ・市街地では船岡公園や信濃川沿いの遊歩道、西部の丘陵地には白山運動公園が整備されているほか、南部には市のシンボルである山本山がそびえ、豊かな自然と360度見渡せる眺望が訪れる人々を魅了しています。



(資料：住民基本台帳 各年3月31日現在)

◇ 主要な地域資源 ◇

主な自然資源	主な歴史資源	主な公共公益施設	主な都市施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡東山山本山 県立自然公園 ・船岡山 ・信濃川 ・茶郷川 ・郡殿の池 ・谷内池 ・ばば清水 	<ul style="list-style-type: none"> ・二荒神社 ・魚沼神社 ・慈眼寺 ・明石堂 ・時水城跡 ・西脇邸 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 ・サンプラザ・錦鯉の里 ・市民会館・図書館 ・総合体育館 ・サンラックおぢや ・山本市市民の家 ・小学×3、中学×2、小千谷西高校 (塩殿小は H25.4 に支援学校として開校予定) ・小千谷総合病院、魚沼病院、さくら病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・関越自動車道、小千谷IC ・国道117号、291号、403号 ・船岡公園 ・白山運動公園 ・小千谷市西山斎場 ・時水清掃工場 	<ul style="list-style-type: none"> ・おぢやラインガルテン ふれあいの里 ・船岡公園まつり ・二荒さまのおまつり ・おぢやまつり ・おぢや風船一揆 ・ほんやら洞まつり ・西脇順三郎記念室 ・小千谷カントリークラブ

(2)西部地域の主なまちづくり課題

①中心市街地としての活力や魅力の向上が必要です

- ・地域の人口は23,129人（平成23年）で、市全体の59.2%を占めています。
- ・城川地区や千田地区において人口・世帯数が増加する傾向にある一方、中心市街地に位置する西小千谷地区では人口・世帯数ともに減少傾向にあり、空き家や空き店舗の増加など、中心市街地の衰退が進行しています。
- ・中心市街地には、商店街のほか、サンプラザや錦鯉の里などの文化・交流資源、茶郷川や船岡山などの自然資源、慈眼寺などの歴史資源が集約していますが、まちづくりに効果的に利用されていないのが実情です。
- ・本市の顔となる魅力的なまちづくりや歩いて暮らせる利便性の高いまちをつくるため、既存資源の有効活用が重要な課題となっています。特に、計画されている小千谷総合病院の統合移転に伴って更なる活力衰退が懸念され、跡地の有効活用が必要となっています。

②幹線道路沿道における適正な土地利用の誘導が必要です

- ・国道17号や国道117号などの幹線道路の沿道において、郊外型の大規模店舗をはじめとする店舗や事業所等の立地が進んでいます。
- ・今後も交通利便性の高い幹線道路沿道における開発が予想され、中心市街地の一層の衰退を招くとともに、バイパス機能の低下、田園環境や景観の悪化なども懸念されることから、土地利用を適正にコントロールしていくことが必要です。

③市街地内の宅地化の促進、土地利用形成の適正化が必要です

- ・工業系用途地域に指定されている桜町土地区画整理地区（総合体育館周辺）では住宅地開発が進んでおり、土地利用計画（用途地域指定）と現況土地利用との間に不整合が生じています。
- ・一方、その他の市街地では宅地化の進んでいない所があり、郊外部における拡散的な宅地開発を抑制するためにも、市街地内の宅地化促進が必要となっています。

④市街地における道路網の整備・見直しが必要です

- ・市街地における道路網は、国道117号や国道291号、国道403号、(主)長岡片貝小千谷線、(主)小千谷十日町津南線を骨格として放射環状型に配置されており、都市計画道路としての整備を促進するとともに、身近な生活道路の改善が求められています。
- ・また、統合病院の建設に際しては、医療拠点にふさわしい環境の形成とともに、アクセス性を確保するための道路網や公共交通網の検討が必要となっています。

⑤地域資源の保全・活用が必要です

- ・西部地域には、本市のシンボリックな緑地である山本山、骨格的な水辺景観軸である信濃川、良質な魚沼産コシヒカリの生産地である広大な農地、スポーツ振興の拠点である白山運動公園や総合体育館などの地域資源が豊富にあります。
- ・これらの地域資源を今後とも良好に保全するとともに、まちづくりの資源として積極的に活用していくことが必要です。

(3)西部地域のまちづくり方針

①地域づくりの目標

本市の中心部として発展してきた西部地域では、市街地を取り囲む緑豊かな自然環境との調和を基本に、豊富な地域資源を積極的に活用しながら、都市の顔にふさわしい魅力と活力ある中心市街地づくり、適正なコントロールによる良好な市街地環境の形成を目指します。

②地域づくりの方針

[都市の顔づくり]

- ・既存商店街やサンプラザ一帯の中心市街地では、本市の顔となる場所として、また、地域生活の拠点となる場所として、商店街の活性化を図りながら、歴史や伝統文化、自然を活かした魅力づくりを図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化（魅力ある商店街づくり、空き店舗対策等） ・空き家や空き地等を利用した身近な憩いや交流の場づくり ・小千谷総合病院跡地の活用を検討 ・商店街の景観整備 ・サンプラザの機能充実、周辺の一体的な環境整備 ・楽しみながら安心して歩ける歩道空間の整備、花や緑等による演出
------------------------------------	--

[快適な住環境づくり]

- ・市街地では、将来的な宅地需要の受け皿として宅地化を促進するとともに、田園集落を含めて、身近な生活道路や公園・緑地の整備、美しいまちなみづくりなどを進め、安全で安心して暮らせる質の高い居住環境の形成を図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・工業地から住宅地への土地利用転換（桜町土地区画整理地区の用途地域変更） ・生活道路の改良、身近な公園・広場、消雪パイプや流雪溝の整備 ・地区計画や建築協定、緑地協定などの住民主体のルールづくり ・屋敷林や地域林などのまちなかの緑の保存
------------------------------------	---

[地域活力創造の場づくり]

- ・第一工業団地、千谷工業団地、西部工業団地及び桜町準工業団地などにおいて、既存の環境の維持・改善を図るとともに、新たな企業立地を支援します。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の機能拡張、新たな企業誘致 ・新たな企業用地（候補地）整備の検討 ・第一工業団地周辺の長期末利用地対策の検討
------------------------------------	---

[適正な沿道環境の形成]

- ・自動車利用による利便性の高い国道 117 号などの沿道では、中心市街地活性化とのバランスや高齢者のアクセスしやすさなどに配慮しながら、土地利用の適正な規制を図り、市民の暮らしやすさを高めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・統合病院建設に伴う環境整備（用途地域指定） ・国道 117 号などの幹線道路沿道における適正な土地利用の規制 ・店舗や広告物の景観のルールづくり、花や緑による修景 ・歩道のグレードアップ、バリアフリー化等による歩行者・自転車環境の整備
------------------------------------	---

[都市基盤の整備]

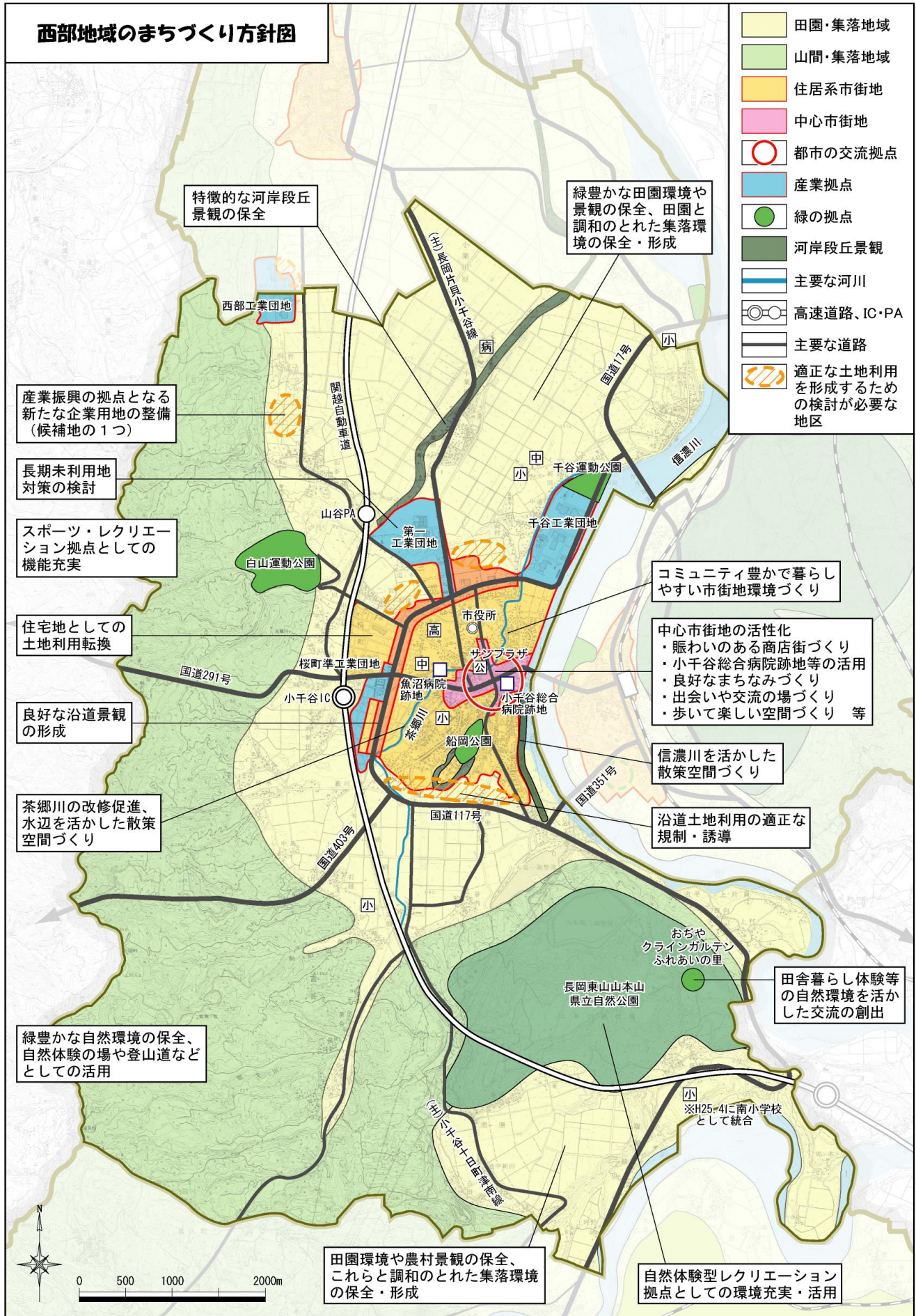
- ・ 国道や県道を中心に放射環状型の道路網を形成し、広域交通の円滑化、市街地への適正な誘導を図るとともに、安心して快適に利用できる歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨格となる道路網の整備促進（国道 117 号） ・ 未整備都市計画道路の整備促進・一部見直し ・ 統合病院建設に伴うアクセス道路及び公共交通網の整備、検討 ・ 既存の生活道路の改善（拡幅、交差点改良等） ・ 街路樹や花などによるうまいのある道路景観の形成 ・ タウントレイルによる歩行者空間の整備、休憩施設やポケットパークの整備 ・ 茶郷川の早期改修の実現、水辺に親しめる環境の整備
------------------------------------	---

[地域資源の保全と活用]

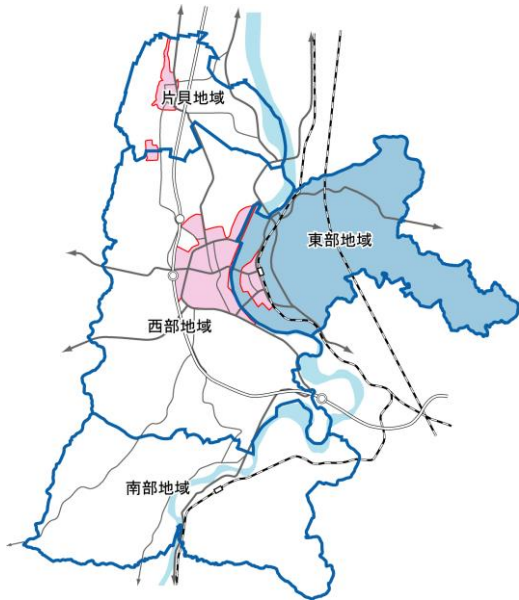
- ・ 四季を映し出す山本山や西部丘陵地の緑、広大な田園、信濃川の水辺や河岸段丘緑地などの自然環境を保全するとともに、これらを活用した自然とのふれあいの場や多様性のある居住の場づくりなどへの活用に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山本山、西部丘陵地、河岸段丘緑地、農地、信濃川の自然環境・景観の保全 ・ 山本山の景観を利用した自然体験の場の提供・白山運動公園、船岡公園の機能充実 ・ 信濃川や茶郷川、郡殿の池等の水辺を活かした緑地・広場の整備・活用 ・ おちやクラインガルテンふれあいの里の活用 (田舎暮らし体験、交流の場)
------------------------------------	--

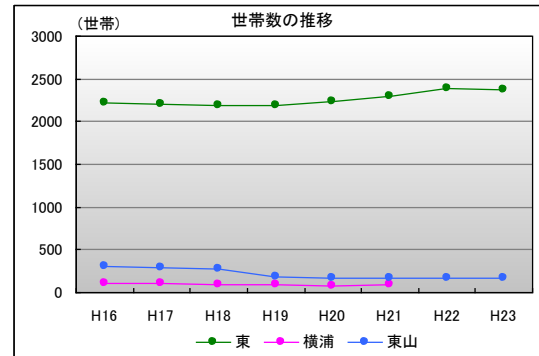
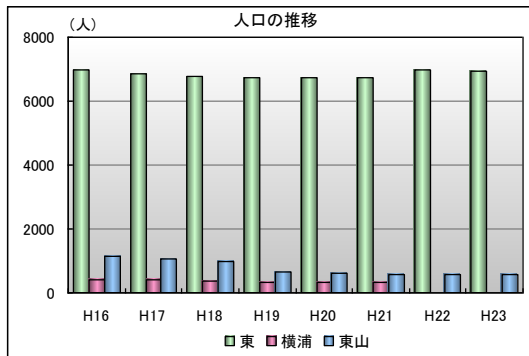


4. 東部地域のまちづくり方針

(1) 東部地域の現況 (東小千谷地区(旧横浦を含む)、東山地区)



- 東部地域は信濃川の右岸に位置し、北は長岡市（六日市地域）と南は長岡市（川口地域）、東は魚沼市に接しています。
- 地域の大半は、長岡東山山本山県立自然公園区域を中心とした山間地域で、西端を流れる信濃川の右岸沿いに平坦地が細長く開けていますが、河岸段丘上に位置するため地形的段差が随所に見られます。
- 交通網は、信濃川沿いの開けた区域を中心に、国道17号や国道291号、国道351号、JR上越線等が集中して通っています。
- 市街地では、東小千谷土地区画整理事業が廃止となり、関連する都市計画の見直しを行っているほか、農業試験場跡地では、災害時における防災拠点などとして機能する公園の整備を計画しています。
- 平成23年の人口は7,519人、世帯数は2,543世帯で、東部地域全体として人口は減少傾向、世帯数は横ばいで推移しています。
- 信濃川の河川敷を利用した河川公園、地域間交流センター湯どころちぢみの里などのほか、国の重要無形民俗文化財の牛の角突きや錦鯉などの本市を代表する伝統文化があります。



(資料：住民基本台帳 各年3月31日現在)

◇ 主要な地域資源 ◇

主な自然資源	主な歴史資源	主な公共公益施設	主な都市施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> 長岡東山山本山県立自然公園 (金倉山、朝日山) 信濃川、表沢川 他 男池、女池 	<ul style="list-style-type: none"> 朝日山古戦場 蕨生城跡 木喰観音堂 	<ul style="list-style-type: none"> 東小千谷小学校 東山小学校 東小千谷中学校 小千谷高校 小千谷税務署 勤労青少年ホーム 湯どころちぢみの里 	<ul style="list-style-type: none"> 国道17号 国道291号 国道351号 JR上越線、小千谷駅 信濃川河川公園 クリーンスポット大原 	<ul style="list-style-type: none"> 朝日山展望台 金倉山展望台 小千谷闘牛場

(2) 東部地域の主なまちづくり課題

① 地域活力の維持が必要です

- ・地域の人口は7,519人（平成23年）で、市全体の19.2%となっています。
- ・東小千谷地区では、近年になって人口・世帯数ともに緩やかな増加傾向にありますが、その他の地区では人口・世帯数ともに減少～横ばい傾向にあり、地域コミュニティの崩壊など地域活力の衰退が懸念されます。
- ・このため、若者を中心とする人口流出の抑制と地域への定住を促進するとともに、二地域居住など地域特性を活かした新たな定住対策を検討することも必要となっています。

② 生活を支える地域拠点の充実が必要です

- ・JR小千谷駅を中心として、国道291号沿いに商店街が形成されていますが、空き店舗が多く、いわゆるシャッター通り化が進んでいます。
- ・今後、高齢化の進展が確実となっている中で、自動車に過度に依存することなく、歩いて暮らせるまちを形成するためには、身近に買い物ができる場としての地域商店街の維持・活力向上が重要な課題となっています。

③ 土地区画整理事業の廃止に対応したまちづくりが必要です

- ・市街地では、昭和62年からまちづくりの検討が開始され、平成9年度に東小千谷土地区画整理事業を都市計画決定し、このうち東小千谷北土地区画整理事業について事業認可を受け、事業化に向けて取り組んできました。
- ・しかし、地価の下落や宅地需要の減少など社会情勢が著しく変化し、住民の合意形成や宅地需要の見込みが困難となったことなどから、平成15年度に事業廃止が決定されました。
- ・今後も事業化の見込み・必要性が低い中で、面的な市街地開発を前提とした都市計画による制限が地域住民にかかっており、事業廃止に合わせた土地利用計画や都市施設整備の見直しを進めています。

④ 固有の資源を活かした地域活性化が必要です

- ・広域幹線軸である国道17号沿いに位置する湯どころちぢみの里は、情報発信機能のほか、住民相互あるいは来訪者との憩いや交流の場としての活用が望まれます。
- ・東山地区では、錦鯉産業や牛の角突きなどの特色ある文化が根強く息づいているほか、農産物を使った特産品開発等に取り組んでおり、今後とも保存・継承するとともに、まちづくりに活かしていくことが重要です。
- ・このほか、信濃川の広大な河川空間、長岡東山山本山県立自然公園などの豊かな自然環境を活かしたまちづくりを進めていくことが重要です。

(3) 東部地域のまちづくり方針

① 地域づくりの目標

市街地では、都市計画道路の整備や農業試験場跡地の活用、河川改修を促進するとともに、商店街の活性化と合わせて生活環境の改善を図ります。山間部では、自然環境を保全・活用するとともに、集落環境の改善・地域活力の向上を図ります。

② 地域づくりの方針

[快適な生活環境づくり]

- 市街地及び市街地に隣接する既存の住宅団地などでは、生活道路の改良や身近な公園広場の整備などにより、安全で安心して暮らせる良好な居住環境の形成に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の改良、消融雪装置の整備等による居住環境の改善 (都)東栄元中子線の整備推進 農業試験場跡地を活用した公園の整備、防災機能の強化 空き地等を利用した身近な公園や広場の整備 表沢川の整備促進 地区計画や建築協定、緑地協定などの住民主体のルールづくり
------------------------------------	--

[地域の生活を支える拠点づくり]

- 自動車に過度に依存することなく暮らすことができる地域づくりを目指すため、既存商店街の活性化を図りながら、地域コミュニティの中心となる拠点づくりを図ります。
- 国道 351 号や J R 上越線沿いに立地する工場については、地域活力や雇用の場を維持するためにも現在の環境の維持を図ります。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 既存商店街の活性化(魅力ある店舗づくり、駅前の再開発、イベント開催など) 楽しみながら歩ける環境づくり、沿道景観の整備
------------------------------------	--

[東小千谷土地区画整理事業の廃止への対応]

- 土地区画整理事業の廃止に伴う都市計画の見直しを行うとともに、将来的な乱開発の防止に向けたルールづくりの必要性などについて、地域住民とともに検討していきます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業(都市計画決定)の廃止 用途地域指定の除外 都市計画道路の廃止(東栄信濃町線、東小千谷環状線)
------------------------------------	---

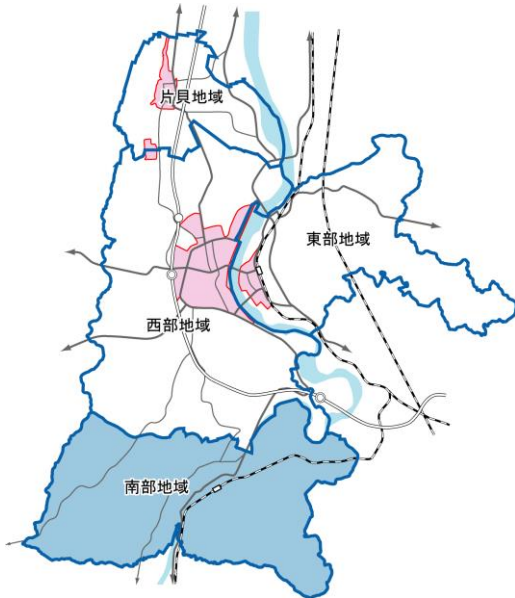
[固有の資源を活かした地域づくり]

- 本市の伝統文化を代表する錦鯉産業や牛の角突き、農産物などの地域固有の資源を活かした地域づくり、活性化策を推進します。
- 朝日山の古戦場や金倉山のふもとで開催される牛の角突きなどの固有資源、信濃川の水辺や河岸段丘緑地などの自然環境・景観、これらを活用した自然とのふれあいの場の整備に努めます。

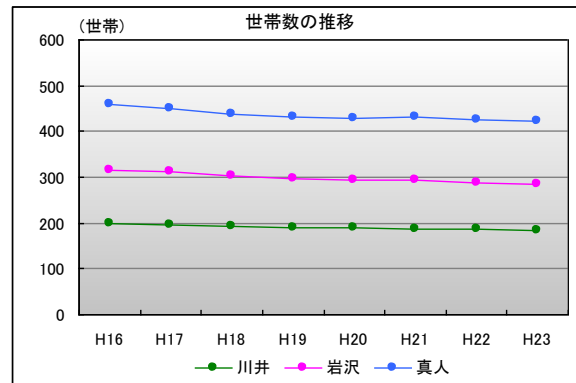
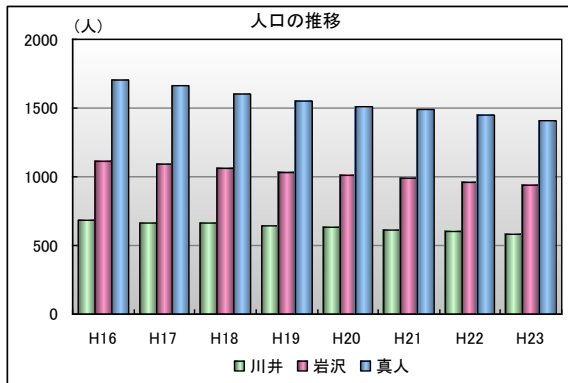
具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 錦鯉産業や牛の角突きなど地域固有の伝統文化を活かした地域活性化 湯どころちぢみの里の機能充実(情報発信、市内への誘導機能等) 信濃川、河岸段丘、農地、山並みが織りなす自然景観の保全 被災体験を通じた交流事業の推進
------------------------------------	---

5. 南部地域のまちづくり方針

(1) 南部地域の現況 (川井地区、岩沢地区、真人地区)



- ・南部地域は本市の南部に位置し、東は長岡市（川口地域）、西は長岡市（小国地域）、南は十日町市に接しています。
- ・地形は、高場山や桜峰などが連なる山間地域で、地域の中央を信濃川が流れ、右岸側の川井地区と岩沢地区、左岸側の真人地区に大きく分かれています。
- ・信濃川などが作り出した低地に沿って集落が細長く形成されているほか、中山間地に集落が点在しています。岩沢地区、真人地区は都市計画区域外となっています。
- ・交通網は信濃川沿いに走る国道 117 号や(主)小千谷十日町津南線、J R 飯山線が中心になっており、谷あいの集落を結ぶ県道が点在する集落間を結んでいます。
- ・平成 23 年の人口は 2,932 人、世帯数は 892 世帯で、人口・世帯数ともに減少傾向にあります。
- ・緑豊かな山並みと信濃川の水辺が雄大な自然景観を形成しているほか、耕作地の多くが棚田であり、中山間地の景観を形成しています。



(資料：住民基本台帳 各年 3 月 31 日現在)

◇ 主要な地域資源 ◇

主な自然資源	主な歴史資源	主な公共施設	主な都市施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・高場山 ・桜峰 ・信濃川 ・真人沢川 ・北の沢池 ・棚田 ・男池 	<ul style="list-style-type: none"> ・内ヶ巻城跡 ・函山城跡 ・真人城跡 ・愛染明王 	<ul style="list-style-type: none"> ・川井小学校 ・岩沢小学校 ・真人小学校 (上記 3 校と塩殿小学校(西部地域)は、H25.4 に南小学校として統合) ・南中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 117 号 ・(主)小千谷十日町津南線 ・J R 飯山線、越後岩沢駅・内ヶ巻駅 ・南部スポーツ広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・真人天然温泉メゾン

(2)南部地域の主なまちづくり課題

①地域活力の維持が必要です

- ・地域の人口は2,932人（平成23年）で、市全体の7.5%となっています。
- ・いずれの地区も人口・世帯数ともに減少傾向にあり、特に、若年層の流出と高齢化が進展している状況がうかがわれ、今後、地域活力の一層の低下だけでなく、担い手不足による農地の荒廃などが懸念されます。
- ・このため、若者を中心とする人口流出の抑制を図るほか、豊かな自然環境を活かした多様性のある居住の場づくりなど、新たな定住策を検討し、地域活力の維持を図ることが必要な課題となっています。

②暮らしを支える生活基盤の充実が必要です

- ・このまま人口減少が続けば中山間地では、地域コミュニティの崩壊を招くだけでなく、公共施設の維持にも影響を与えるおそれがあります。特に、小学校については、平成25年4月に3校が統合されることに伴い、コミュニティとしてのつながりの維持・強化が課題となります。
- ・今後、高齢化の進展が一層進むことが予想され、冬期間の除雪困難世帯の増加や買い物難民の増加など、自動車を利用できない高齢者にとって不便な地域となることが危惧されます。
- ・このため、生活必需品や医療・福祉、コミュニティなど日常生活に不可欠な機能の維持・充実に図るほか、移動性の確保を図ることが必要となっています。

③地域資源の保全・活用が必要です

- ・緑豊かな高場山や桜峰などの山並み、その谷あいを通り流れる信濃川がダイナミックな自然景観を形成しており、これらの自然環境・景観を維持保全することが大切です。
- ・また、豊かな自然が育んだ農作物や伝統文化、温泉施設等の地域資源などを活用した都市交流や地域活性化の取り組みが行われており、今後とも継続していくことが必要です。

(3) 南部地域のまちづくり方針

① 地域づくりの目標

緑豊かな自然に包まれたのどかな居住の場として、自然環境や景観の保全と活用を図りながら、地域住民の日常の暮らしや交流を支える機能を充実し、誇りをもって住み続けられる地域づくりを目指します。

② 地域づくりの方針

[快適な生活環境づくり]

- 生活道路などの生活基盤施設の充実、地域福祉や子育て環境、コミュニティ活動の場の充実などに努め、住み続けることのできる地域づくりを進めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の改良、合併処理浄化槽の普及や消融雪装置の整備等による集落環境の改善 生活必需品を扱う昔ながらの地域のお店づくり 医療、子育て、デイケア等の地域福祉環境の充実 住民間の申し合わせ（自主ルール）による誇りのもてる地域づくり 花などによる身近な景観づくり 豊かな自然を活かした田舎暮らしなどの推進
------------------------------------	---

[円滑な移動性の確保]

- 日常・非日常を問わず移動の中心となる国道 117 号や(主)小千谷十日町津南線、JR 飯山線の利用のしやすさを高めるため、これらへのアクセス性を高めるとともに、特に高齢者や障がい者などの移動制約者に対応するため、乗合タクシーの運行のほか地域で運行しているコミュニティバスの存続に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 川井大橋、魚沼橋の長寿命化 JR 飯山線の利用促進 コミュニティバスや乗合タクシーの運行存続
------------------------------------	--

[地域資源の保全と活用]

- 高場山や桜峰などの山並み、信濃川の水辺や河岸段丘緑地などの自然環境を保全するとともに、大自然に包まれた地域にふさわしい環境づくり、自然とのふれあいの場の整備に努めます。

具体的な施策や 取り組み (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 山並み、農地、河岸段丘景観の保全 信濃川を活かした水辺に親しめる場づくり、森林を活かしたレクリエーション機能の充実 城跡など地域固有の歴史や伝統文化を活かした地域活性化 地域資源を活用した農家民宿や農家レストランなどによる都市との共生の推進
------------------------------------	---

